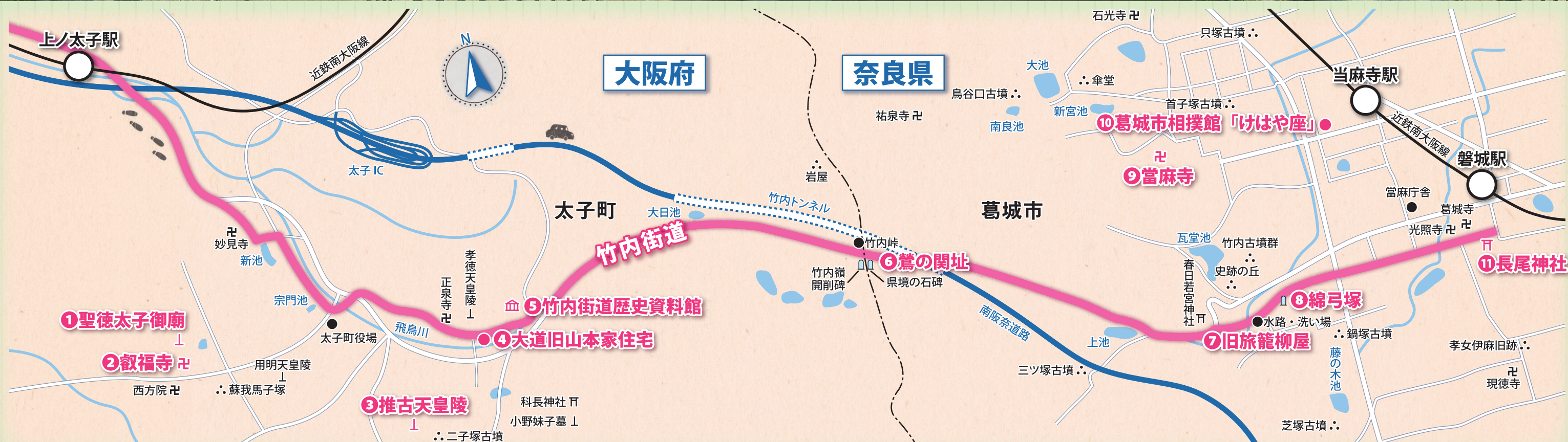


近鉄南大阪線上ノ太子駅(羽曳野市)～磐城駅(奈良県葛城市)



1 聖徳太子御廟

叡福寺の北にある直径50m、高さ10mの円形の古墳・磯長墓。聖徳太子の墓所といわれ、後に聖徳太子信仰の聖地となり、空海や親鸞など多くの高僧が訪れたと伝えられています。



2 叡福寺

推古天皇が聖徳太子とその母や妃の墓を守護するために建立したとされる寺。織田信長の兵火で焼失しましたが、後に豊臣秀頼によって聖徳殿が再建され、次第に伽藍の復興が図られました。



3 推古天皇陵

推古天皇の陵墓と考えられている磯長山田陵。これをとりまくように多くの古墳が所在するこの地を王陵の谷・磯長谷古墳群と呼び、竹内街道はこれらの天皇の葬送の道として使われたとも言われています。



4 大道旧山本家住宅

大和棟の形態を残す茅葺きの古民家。大和と堺を結ぶ街道沿いの歴史的景観を特徴づけるものとして国登録有形文化財となっています。周辺には道標や伊勢燈籠などが残り、当時の面影を今に伝えます。



8 綿弓塚

松尾芭蕉は門人千里の旧里である竹内を何度も訪れ、いくつかの俳句を残しました。その一句がこの「綿弓や琵琶になぐさむ竹の奥」。この句を記念して、文化年間に建てられた句碑のある綿弓塚。毎年11月には芭蕉と千里をしのぶ法要が綿弓塚の休憩所で営まれています。



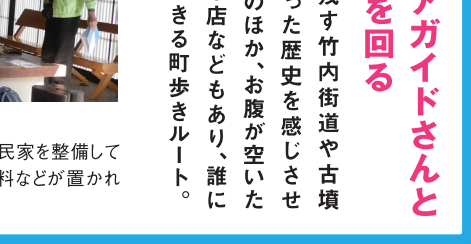
10 葛城市相撲館「けはや座」

相撲発祥の地を象徴する全国でも珍しい相撲の資料館。館内には本場所と同サイズの土俵があり、自由に上がることができて来館者に人気があります。相撲の歴史や郷土力士に関する保管資料は約12,000点にものぼります。



11 長尾神社

祭神は天照大神と豊受大神、水光姫命と白雲別命。日本最古の官道である竹内街道や初瀬街道の起点に鎮座し、大和に住む大蛇の頭は三輪明神にあり、尾は長尾神社まで至ったとの伝承もあります。



5 竹内街道 歴史資料館

街道脇にたたずむ館内では、太子町から出土した遺物や古文書などの展示、マジックビジョン、VTRなどで竹内街道をさまざまな角度から解説。往古の街道へのタイムトリップが楽しめる資料館です。



6 竹内峠付近 鶯の関址・文学碑

江戸時代には、伊勢などへの参詣が隆盛し、茶屋や旅籠が峠を行く人々の旅情をそそったそうです。鶯の関ともよばれる建物には、絢爛な襖絵や精緻な欄間などが残り、当時の風情を今に伝えています。



7 旧旅籠柳屋

伊勢参りなどで通う人のために格式の高い宿があった竹内街道。旧旅館「柳屋」もそのひとつで、築300年ともいわれる建物には、絢爛な襖絵や精緻な欄間などが残り、当時の風情を今に伝えています。



9 當麻寺

聖徳太子の弟・麻呂古王が創建し、白鳳時代に河内から當麻の地に移ったとされる古刹。中将姫の「當麻曼荼羅」や白鳳以降の文化財が収蔵された三重塔が東西一対に残る寺としても知られています。



ボランティアガイドさんと市内中心部を回る

昔日の風情を残す竹内街道や古墳群、當麻寺といった歴史を感じさせる観光スポットのほか、お腹が空いた時に立ち寄れる店もあり、誰にでもおすすめできる町歩きルート。

綿弓塚の休憩所
句碑の建つ庭と近くの民家を整備して休憩所とし、芭蕉の資料などが置かれています。

